

資料提供(投げ込み) 平成30年1月22日(月)	
場所 津市政記者室	
事務担当課	
所 属	職・氏 名
三重短期大学 附属図書館 (電話059-232-2341)	図書担当副主幹 中澤 利美

三重短期大学附属図書館「まわしよみ新聞」 の開催に係る参加者募集について

図書館が取り扱う様々な資料・媒体の中から新聞を取り上げ、新聞を情報ソースとして身近に感じるきっかけ作り、学生の情報を使いこなす力の向上を目的に、下記のとおりイベント「まわしよみ新聞」を開催します。

また、三重短期大学は、地域の知の拠点として、平成11年より附属図書館を地域の方に開放しています。当イベントは、新聞を媒体としたコミュニケーション教育の場でもあることから、学外の方との交流を目的に、学生だけでなく地域の方も対象に開催します。

記

- 1 日時 平成30年3月2日(金) 10時～12時
- 2 場所 三重短期大学附属図書館 参考室
- 3 対象 本学学生及び一般利用者
- 4 参加費 無料
- 5 持ち物 新聞
- 6 定員 8名(先着順)
- 7 申し込み

1月22日(月)から、三重短期大学附属図書館カウンターで、申込用紙に、氏名、連絡先を記入の上、お申し込みください。

平日の8時30分から17時まで受け付けます。

※学外から参加される場合、申し込みの他に、イベント当日、附属図書館の図書帯出証(図書館カード)の登録、または利用願の提出が必要です。図書帯出証は、津市内に在住・在勤・在学の18歳以上の方は、どなたでもご登録いただけます。上記以外の方、または登録を希望されない方は、利用願の提出が必要です。当館の図書帯出証をすでにお持ちの方は、本イベントの申し込みのみでご参加いただけます。

- 8 内容
参加者全員で、新聞を用いたメディア遊び「まわしよみ新聞」を行います。

- 9 その他

【まわしよみ新聞とは(まわしよみ新聞実行委員会公式サイトより抜粋)】

インターネットの「情報検索性」は非常に便利なものですが、それがゆえに自分が欲している情報のみを取得する傾向にあり、これは結果として自分の世界を狭くします。それに対して新聞は「見出しの大きさや幅」「記事の文字量や序列、配列」などによって「社会的なニュース価値」を察知することが可能です。新聞を読むことによって、自分がまったく興味、関心のなかった分野の情報にも触れ、自然と世間を広くすることが可能かも知れない。さらに新聞は「みんなで読む」という「ま

わしよみ」が可能なメディアです。まわしよんで思ったことを話し合ったり、それを契機にして、多様な意見が聞ける。他者を知るコミュニケーション・ツールになる。これは自己完結してしまいがちなインターネットにはない面白味ではないか？

そこで、新聞の「自分の世界を広げる可能性」と「みんなでまわしよむことの可能性」を探ろう！ということで、当プロジェクトが開始されました。いつでも、どこでも、だれでもできる。コモンズ・デザインによる新しいメディア遊びを、大いにお楽しみください。